今、大学の門はシニアに大きく開かれています

大だが、当人だい。





そして「その先」の目標は?(2大学で5人の方たちに伺った。ゆうゆう世代が増えている。どんな学生生活なのか、大学に通い、本格的かつ専門的な「学び」に挑む



レポート、ゼミ、討論。厳し ひとりの大学生 い授業もあるけれど

キャンパスライフを謳歌しています

太田美奈子さん(記蔵)

両方の講義が受けられるシニア向け・学部生向け

で受けられるシステムが特徴だ。
立教セカンドステージ大学は、50
立教セカンドステージ大学は、50
立教セカンドステージ大学は、50
立教セカンドステージ大学は、50
立教セカンドステージ大学は、50
立教セカンドステージ大学は、50
立教セカンドステージ大学は、50

テアリー目、比学問連りあせた思を送る太田美奈子さんに伺った。 「社会学やビジネス学など、分野に こだわらず関心のあるテーマの授業 を履修しています」

今年の1月、化学関連の商社を退職した太田さん。その2カ月後には大学生として新たな生活を開始した。「60歳を過ぎた頃から、退職後の人生を考えるように。漠然と『何か勉生を考えるように。漠然と『何か勉生を考えるように。

には、 にな学び方が自分に合うのか、いろいる学び方が自分に合うのか、いろいる調べて行き着いたのがここだった。 の調べて行き着いたのがここだった。 にとって『学ぶ』とは、先生の話を一方的に聴くだけではなく、ゼ 話を一方的に聴くだけではなく、ゼ 話を一方的に聴くだけではなく、ゼ があったり論文を書いたり、という学問を通した相互交流があるイ メージだったんですね。ここならそ

フィールドワークも教室での講義の他に

っている。どの講義にも意外なこと、 なったからこそ学びたい講義がそろ 生活と介護保険」など、この年齢に 長寿とアンチエイジング」「高齢者の 独自のカリキュラムには、「健康

> 毎週、こちらが提出する『リアクショ ていました。でも先生が熱心な方で、 興味深いことはある、と言う太田さ 勉強してもピンとこないかなと思っ 金融に関する講義だとか。 んだが、なかでも印象に残ったのは 「会社も辞めてしまったし、金融を

内容をテーマに話してくださった 答えてくださったり、直近の新聞の

証券取引所の見学や、金融関係の

思いますが すいですね。先生は本当に大変だと 題を取り上げてくださると理解しや り。そんなふうに、タイムリーな話

会社が多く入る東京駅周辺の散策な

ンペーパー」の質問や感想に丁寧に

膨大なうえ、新聞や雑誌の 記事などもオンラインで検索 可能。「授業の合間には、よ

と語り合ったことも

-ジ大学の入学式は毎年4月、構内のチャペルで行われ

授の「『だまし』と「ウソ」の心理学」。 徳商法やカルト宗教などの身近な 問題を、精神医学や心理学の知識を 用いて解説。「とても興味深いテーマ。 長い授業時間も苦になりません」

どのフィールドワークもあり 新鮮に目に映ります」。 てくださる。見慣れた風景がとても 方はしないな、という視点で解説し 「普通に歩いていたら、そういう見

そうだ。

書)などの著書のある社会学者・上

もう一つ、『当事者主権』(岩波新

野千鶴子さんの講義も印象的だった

という。 を知ることができたのは収穫だった ない経験。知らなかった自分の一面 うまくかわします。女性は正面から までしてきた経験を言語化し、理論 受け止めて、自身を見つめてしまっ けない。こういうとき、男性のほうが で自分の内面をさらけ出さないとい 化するという内容なので、この年齢 て。だから精神的にきついですよね. う講義なんですが……。 自分がこれ **履修した『当事者研究の実践』とい** 「上野先生の著書が面白かったので でも、こんな機会がなければでき

きっと生涯の友人に ゼミの仲間たちは

と思いついて慌てて準備することも。 について『あ、これを入れておこう 大学のことが、 読み返します。 くのに必死ですし、家でもノートを じゃなかった(笑)。授業についてい ていた太田さんだったが……。 受けていられるだろうか、とか考え 1日講義漬けの日々が1年間続く。 人学する前は、 「いざ始まってみたら、それどころ とはいえ、大学主催のシンポジウ 毎週月曜日から金曜日まで、 今のほうがハードかも 会社へ行っていたときより 翌日発表するテーマ 90分の授業をじっと いつも頭を占めて まる

> を存分に楽しんでいる。 ムに出席したり、 興味のある研究会

とても楽しくて」 にないですよね。 この年齢になって、 騒ぐなんてそんな そういうことも、 清里へ合宿 「いいわね、 何も知

学びのスタイルに加え、バックボー

みんなとワイワイ り上がりました。 若い人たちは』と言われるくらい盛 らない旅行中のご夫婦に やフォークダンスもやって。 に顔を出すなど、キャンパスライフ に行ったんです。キャンプファイア この夏は親睦も兼ねて、 「ゼミは12人。皆仲よしなんですよ。

というのが太田さんがここを選んだ 理由の一つだ。 ンの違う人たちと出会いたかった、 「その点に関しても期待どおりで

大学からのメッセージ

在籍中の女性の平均年齢は61.4歳。 皆さん、とてもアクティブです!

今年の本科への入学者数は 96名。男女比は半々です。で も実際に、このセカンドステ-ジ大学を動かしているのは女 性のパワー。修了後は、さら に深く学ぶため専攻科へ進学 する方も多くいます。新たな自 分の可能性に気づく場所です。



事務室課長 足立 寛さん

入学情報

入学する年の4月1日現在、満50歳以上の男女 で、高等学校を卒業またはこれに準じた学力 があると認められる方。

- ■選考方法
 - 書類選考(履歴書・課題エッセイ)および 面接試験
- ■選考料 1万円
- ■登録料・受講料 [登録料] 10万円 [受講料] 30万円
- ■募集期間 12月中旬~1月中旬
- ■問い合わせ先
- ☎03-3985-4672

ホームページ(「立教セカンドステージ大学」で検索) http://www.rikkyo.ac.jp/academics/ lifelong/secondstage/index.html

1日3~4コマの授業を 受ける

本科は、1科目が半年で修了する春学期・秋 学期制。必修科目(入学時にクラス指定され るゼミナール含む)と選択科目がある。

- 10:30 登校

10:45-12:15 授業 「日本国憲法」

- 12: 15-13: 15 お昼休み



ランチは学食でとる ことも。「レストラン 並みのメニューです」 太

田

さ

h

の

あ

る

1

B

の

ケ

ジ

ュ

ル

野が広がって、考え方にも幅が出た

全然違う人の話が聞けるんです。

視

の重役だった人。生き方も考え方も 師だった人、公務員だった人、

長年主婦をやってきた人、

会社

13: 15-14:45 授業「高等教育の歴史的展開」

15:00-16:30 **授業**「社会老年学入門」

- 16:40-18: 10 本科ゼミナール

したいです。 思う人には、

おすすめ 生の財

産になりますから」

気がしますね」 いそうだ。 して集まったり、 定期的に同期会を開催 修了後も交流が続き、 部含めて経験したいと なるケースも少なくな げるなど、生涯の友と ンティアの会を立ち上 「学びも学生生活も全 ゼミの仲間たちとは ボラ



授業終了後、図書館の自習スペースでノートをまとめたり、レポート作成の準備をすることも多い。 「ハードだと思うこともありますが、やりがいを感じています」